

令和3年3月1日

「斜面動態モニタリングデータに基づく崩壊発生予測研究委員会」委員の追加公募

研究調査部長 笹原克夫

2017年から活動を開始した下記の研究委員会で、委員として活動いただける方を追加公募いたします。

1. 委員会名：斜面動態モニタリングデータに基づく崩壊発生予測研究委員会
2. 活動期間：2017年4月～2022年3月
3. 経費：各自で必要な分を負担することとします。現時点で学会として特別な予算は準備していません。
4. 委員：公募。下記「活動内容」にご賛同いただける方ならば、地すべり学会員及び非会員のいずれも可とします。
5. 活動内容：

平成28年度末に終了した地すべり学会研究助成委員会「斜面モニタリング技術を用いた危険度評価手法に関する研究委員会」では2回の模型実験を実施しましたが、データの解析（崩壊発生予測）を行うに至っていませんでした。このフォローアップを行うために「斜面動態モニタリングデータに基づく崩壊発生予測研究委員会」を、研究調査部の下に立ち上げ、上記の模型実験のみならず、実斜面ないしは模型実験のデータを所有するメンバーが集まって、崩壊発生予測のためのデータ解析を行っています。今後の崩壊発生予測技術の普及を目指しています。

特に平成28年12月にNHKと日本地すべり学会が共同で実施した千葉県富津市の現地斜面の実験データや、その他現地斜面の計測データを用いて、降雨による表層崩壊の発生予測のための解析手法の検討を行っています。
6. その他：本委員会の活動内容は、毎年研究調査部に報告され公開されます。
7. 委員の追加公募期間：2021年3月1日～2021年4月30日
8. 問い合わせ及び連絡先

笹原克夫（高知大学）  
高知大学教育研究部自然科学系理工学部門  
〒780-8520 高知県高知市曙町 2-5-1  
E-Mail [sasahara@kochi-u.ac.jp](mailto:sasahara@kochi-u.ac.jp) TEL-088-844-8482

委員に応募される方は、①氏名、②所属、③メールアドレス、④電話番号、⑤住所を明記し、題名を「斜面動態モニタリング委員会公募（応募者の氏名）」として、メールにてお送りください。

令和3年3月1日

「地震地すべり研究委員会」委員の追加公募

研究調査部長 笹原克夫

2018年から活動を開始した下記の研究委員会で、委員として活動いただける方を追加公募いたします。

1. 委員会名：地震地すべり研究委員会
2. 活動期間：2018年10月～2023年3月
3. 経費：各自で必要な分を負担することとします。現時点で学会として特別な予算は準備していません。
4. 委員：公募。下記「活動内容」にご賛同いただける方ならば、地すべり学会員及び非会員のいずれも可とします。
5. 活動内容：

地震地すべりについての調査・研究についての情報共有および新たな技術開発を目的とします。地震時の斜面の揺れ方、地盤特性、間隙水圧挙動、地すべりの形態的特徴などについての観測・実験・解析による調査・研究を持ち寄り、今までの枠組みにとらわれない地震地すべりの理解や手法開発を目指します。また、地震学的手法による地すべり内部構造の探査や地すべりに伴う地震動の利用など地すべり現象への地震学的手法についても本委員会の対象とし、広く地すべり現象と地震現象の関わる領域について扱います。年に1～数回の委員会活動を通じて、委員のメンバーによる調査・研究報告や（必要に応じて）講演、技術講習会等をおこなう予定です。
6. その他：本委員会の活動内容は、毎年研究調査部に報告され公開されます。
7. 委員の追加公募期間：2021年3月1日～2021年4月30日
8. 問い合わせ及び連絡先  
土井 一生（代表）  
〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄

京都大学防災研究所斜面災害研究センター

E-Mail: [doi.issei.5e@kyoto-u.ac.jp](mailto:doi.issei.5e@kyoto-u.ac.jp) TEL: 0774-38-4113

委員に応募される方は、①氏名、②所属、③メールアドレス、④電話番号、⑤住所を明記し、  
題名を「地震地すべり研究委員会追加公募（応募者の氏名）（応募者の氏名）」として、メールにてお送りください。

令和3年3月1日

「雪氷圏の地すべり研究委員会」委員の公募

研究調査部長 笹原克夫

2018年から活動を開始した下記の研究委員会において、委員として活動いただける方を追加公募いたします。

1. 委員会名：雪氷圏の地すべり研究委員会
2. 活動期間：2018年10月～2024年3月
3. 経費：各自で必要な分を負担することとします。現時点で学会として特別な予算は準備していません。
4. 委員：公募。下記「活動内容」にご賛同いただける方であれば、地すべり学会員及び非会員のいずれも可とします。
5. 活動内容：  
雪氷圏で生じる多様な地すべり事象の情報共有及び理解の深化を活動目的とします。委員会や現地検討会を年に数回開催し、有志による地すべりの事例報告や研究報告、巡検等を通じて、雪氷圏における地すべりの実態や、積雪環境等との関わりについて議論を深めます。このほか、雪氷圏特有の観測技術や土壌凍結なども含め、雪氷圏の地すべりに関わる諸問題を広く対象とする予定です。
6. その他：本委員会の活動内容は、毎年研究調査部に報告され公開されます。
7. 委員の追加公募期間：2021年3月1日～2021年4月30日
8. 問い合わせ及び連絡先  
岡本 隆（代表）  
〒305-8687 茨城県つくば市松の里1  
（国研）森林研究・整備機構 森林総合研究所 森林防災研究領域  
E-Mail [okataka@ffpri.affrc.go.jp](mailto:okataka@ffpri.affrc.go.jp) TEL 029-829-8236

委員に応募される方は、①氏名、②所属、③メールアドレス、④電話番号、⑤住所、を明記し、題名を「雪氷圏の地すべり研究委員追加公募（応募者の氏名）」として、メールにてお送り下さい。

令和3年3月1日

「すべり面および移動体の物質科学・構造研究小委員会」委員の追加公募

研究調査部長 笹原克夫

2019年から活動を開始した下記の研究委員会で、委員として活動いただける方を追加公募いたします。

1. 委員会名：すべり面および移動体の物質科学・構造研究小委員会
2. 活動期間：2019年4月～2024年3月
3. 経費：各自で必要な分を負担することとします。現時点で学会として特別な予算は準備していません。
4. 委員：公募。下記「活動内容」にご賛同いただける方ならば、地すべり学会員及び非会員のいずれも可とします。
5. 活動内容：

地すべりの発生やすべり形態を決定づける主要因の一つがすべり面形成層やすべり面土のせん断強度であることから、せん断強度特性に関して特に多くの研究が行われてきました。近年においても、せん断強度測定装置の精度向上や改良、新装置で得られた結果の利活用により、せん断強度研究は進展をみせています。さらには、観測やサンプリングの技術向上、各種観測・測定機器の低価格化や改良・開発、他分野の手法や知見の導入等に伴い、すべり面の形成とその発達過程（マイクロ～マクロスケール）、すべり面土の成因、すべり面の構造的特徴や特定手法、すべり面に転化し得る弱面や不連続面の認定等に関する研究が歩みを進めています。これらのテーマに、すべり面の物質科学、地すべり移動体の構造や変形・破壊過程といったテーマも加え、情報共有や議論を通じて、すべり面を軸とした地すべり研究のさらなる深化と発展に資することを活動の目的とします。年に1～数回の委員会活動（委員による調査・研究報告、ワークショップ、技術講習会）を行う予定です。
6. その他：本委員会の活動内容は、毎年研究調査部に報告され公開されます。
7. 委員の追加公募期間：2021年3月1日～2021年4月30日

8. 問い合わせ及び連絡先

中村 真也（代表）

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原 1 琉球大学農学部地域農業工学科

E-Mail [s-naka@agr.u-ryukyu.ac.jp](mailto:s-naka@agr.u-ryukyu.ac.jp)

委員に応募される方は、①氏名、②所属、③メールアドレス、④電話番号、⑤住所を明記し、  
題名を「すべり面研究委員会公募（応募者の氏名）」として、メールにてお送りください。